

2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 コンドーテック株式会社
 コード番号 7438 URL <https://www.kondotec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 浜野 昇
 (氏名) 矢田 裕之
 TEL 06-6582-8441

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	62,385	4.2	3,484	1.1	3,646	0.8	2,512	1.0
2025年3月期第3四半期	59,875	3.4	3,445	5.0	3,618	4.1	2,486	0.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,564百万円 (1.2%) 2025年3月期第3四半期 2,535百万円 (0.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	98.12	
2025年3月期第3四半期	97.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	68,767	39,730	54.8
2025年3月期	65,247	38,350	55.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 37,700百万円 2025年3月期 36,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		23.00		23.00	46.00
2026年3月期		26.00			
2026年3月期(予想)				26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	7.4	4,600	3.0	4,800	2.6	3,350	2.4	130.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社 (社名) 鈴東株式会社、琉球ブリッジ株式会社、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	26,344,400 株	2025年3月期	26,344,400 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	709,300 株	2025年3月期	753,992 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	25,605,274 株	2025年3月期3Q	25,557,722 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、決算の補足説明資料を作成しており、決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の業種を中心に米国の通商政策による影響がみられるものの、個人消費や民間設備投資に持ち直しの動きがみられ、雇用・所得環境にも改善がみられるなど、緩やかに回復してまいりました。しかしながら、継続的な物価上昇や為替変動等により、景気や企業収益は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、公共投資が堅調に推移していることに加え、民間設備投資は緩やかに持ち直しているものの、おおむね横ばいとなっていた住宅投資が弱含むなど、分野によって濃淡がある状況となっております。

このような状況のもとで、当社グループは、新規販売先の開拓や休眠顧客の掘り起こし、新商材の提供、拠点展開などの成長戦略に取り組んでまいりました。また、2025年11月には鈴東株式会社を子会社化し、2025年12月には琉球ブリッジ株式会社を子会社化するなど、当社グループの成長を加速させるM&Aも推進しております。

以上の結果、比較的堅調な分野の需要を取り込んだことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は62,385百万円(前年同期比4.2%増)と増収になりました。

利益面につきましては、売上総利益率がほぼ横ばいとなる中、人件費及び賃借料の増加や上田建設株式会社、鈴東株式会社及び琉球ブリッジ株式会社の子会社化による販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収したことにより、営業利益は3,484百万円(同1.1%増)、経常利益は3,646百万円(同0.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,512百万円(同1.0%増)と増益になりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<産業資材>

建設需要が全体的に伸び悩んだことに伴い販売数量が減少したものの、大口受注の増加により販売価格が上昇した結果、当セグメントの売上高は29,075百万円(前年同期比3.2%増)となりました。利益面につきましては、人件費、賃借料及び買収関連費用を中心に販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果に加え、高付加価値製品の拡販や売上総利益率を意識した営業活動により売上総利益率が改善した結果、セグメント利益は2,085百万円(同12.2%増)となりました。

<鉄構資材>

大型物件が堅調に推移する一方で中小物件が停滞する中、大手取引先や各種加工関連の売上が堅調に推移し、販売数量及び販売価格が微増となった結果、当セグメントの売上高は16,564百万円(前年同期比0.6%増)となりました。利益面につきましては、競合他社との価格競争の激化による売上総利益率の低下に加え、人件費や運賃を中心に販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は1,034百万円(同12.6%減)となりました。

<電設資材>

2027年蛍光灯製造中止に向けたLED照明への切替需要や、同年の省エネ基準改定に伴う大規模な設備投資案件を背景に、特に高圧受変電設備、電線、太陽光発電設備、空調機器の売上が堅調に伸びた結果、当セグメントの売上高は9,500百万円(前年同期比12.9%増)となりました。利益面につきましては、人件費が増加したものの、増収効果や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁、仕入価格引下げ交渉の徹底、利益率の高い工事需要の取り込み等、戦略的な営業努力と全体的な経費削減が功を奏した結果、セグメント利益は384百万円(同27.2%増)となりました。

<足場工事>

足場機材価格の高止まりに伴い物販売上が減少したものの、橋梁・土木関連や大型物件向けの工事売上が好調に推移したことに加え、前連結会計年度に子会社化した上田建設株式会社の売上高が寄与した結果、当セグメントの売上高は7,244百万円(前年同期比6.2%増)となりました。利益面につきましては、外注工事比率の増加等による売上総利益率の低下に加え、賃借料及び人件費の増加や上田建設株式会社の子会社化により販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は8百万円(同94.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末（65,247百万円）と比較して3,520百万円増加し、68,767百万円となりました。これは、法人税等の支払い及び短期借入金の返済等による現金及び預金の減少等があったものの、売上債権及び棚卸資産の増加等を主因として、流動資産が1,870百万円増加したとともに、のれん等の償却による無形固定資産の減少等があったものの、有形固定資産の取得等を主因として、固定資産が1,649百万円増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末（26,896百万円）と比較して2,140百万円増加し、29,036百万円となりました。これは、未払法人税等及び賞与引当金の減少等があったものの、仕入債務及び1年内返済予定の長期借入金の増加を主因として、流動負債が1,258百万円増加したとともに、長期借入金の増加等を主因として、固定負債が881百万円増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末（38,350百万円）と比較して1,379百万円増加し、39,730百万円となりました。これは、剰余金の配当1,254百万円の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2,512百万円の計上による増加等があったことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末（55.7%）比、0.9ポイント減少し54.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想におきましては、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,476	13,670
受取手形、売掛金及び契約資産	11,578	12,382
電子記録債権	4,828	6,848
商品及び製品	6,312	7,044
仕掛品	853	937
原材料及び貯蔵品	1,062	1,117
その他	639	618
貸倒引当金	△10	△8
流動資産合計	40,740	42,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,097	7,414
土地	9,813	10,216
その他（純額）	5,079	3,157
有形固定資産合計	18,991	20,788
無形固定資産		
のれん	2,490	2,322
その他	1,370	1,300
無形固定資産合計	3,861	3,622
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	801	838
その他	915	962
貸倒引当金	△62	△53
投資その他の資産合計	1,654	1,746
固定資産合計	24,507	26,157
資産合計	65,247	68,767

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,685	5,448
電子記録債務	9,648	10,283
短期借入金	3,605	3,035
1年内返済予定の長期借入金	417	779
未払法人税等	763	399
賞与引当金	946	532
その他	3,335	4,181
流動負債合計	23,401	24,659
固定負債		
長期借入金	1,137	1,837
退職給付に係る負債	365	396
その他	1,991	2,143
固定負債合計	3,494	4,376
負債合計	26,896	29,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666	2,666
資本剰余金	2,460	2,486
利益剰余金	32,968	34,226
自己株式	△778	△732
株主資本合計	37,316	38,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	183
繰延ヘッジ損益	△12	1
土地再評価差額金	△1,516	△1,516
為替換算調整勘定	122	186
退職給付に係る調整累計額	272	197
その他の包括利益累計額合計	△988	△946
非支配株主持分	2,022	2,030
純資産合計	38,350	39,730
負債純資産合計	65,247	68,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	59,875	62,385
売上原価	46,530	48,423
売上総利益	13,345	13,961
販売費及び一般管理費	9,900	10,476
営業利益	3,445	3,484
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	5	7
仕入割引	111	125
雑収入	78	64
営業外収益合計	199	206
営業外費用		
支払利息	17	35
雑損失	8	9
営業外費用合計	25	44
経常利益	3,618	3,646
特別利益		
固定資産売却益	18	10
投資有価証券売却益	192	—
負ののれん発生益	—	161
特別利益合計	210	172
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	1	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	3,826	3,814
法人税、住民税及び事業税	1,133	1,103
法人税等調整額	204	190
法人税等合計	1,337	1,293
四半期純利益	2,489	2,520
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,486	2,512

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,489	2,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	40
繰延ヘッジ損益	25	14
為替換算調整勘定	52	64
退職給付に係る調整額	△26	△75
その他の包括利益合計	45	44
四半期包括利益	2,535	2,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,532	2,554
非支配株主に係る四半期包括利益	2	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	965百万円	1,049百万円
のれんの償却額	259	277

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	足場工事	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	28,163	16,473	8,416	6,823	59,875	—	59,875
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	340	76	183	81	682	△682	—
計	28,504	16,549	8,599	6,904	60,557	△682	59,875
セグメント利益又は損失(△)	1,858	1,184	302	147	3,492	△47	3,445

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△47百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	足場工事	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	29,075	16,564	9,500	7,244	62,385	—	62,385
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	301	69	453	88	913	△913	—
計	29,377	16,634	9,954	7,333	63,298	△913	62,385
セグメント利益又は損失(△)	2,085	1,034	384	8	3,513	△28	3,484

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△28百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「産業資材」セグメントにおいて、鈴東株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては161百万円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。